

QI	小児科および小児肝臓消化器科における中心ライン関連血流感染率
分子	カテーテル関連尿路感染発生件数×1000
分母	延べ医療器具使用日数
根拠	医療器具を患者に挿入すると適切な対策を講じなければ感染症になる確率が高くなる。このため、医療器具に関連した感染率を算出することは、感染対策の効果判定や、質を評価するためのツールとして有効であり、QI指標としても活用可能である。日本環境感染学会JHAIS委員会の算出方法に準拠する。
目標	感染率0 中心ライン関連血流感染防止には確率されつつある対応法があり、目標感染率は0に設定する。

